

ソーラーシェアリングは可能性から確かなビジョンへ ～福島の有機農業者が発信する多様な農業設備～

二本松市は、土地に根差した有機農業の実践を続けている全国でも有数の地域であり、震災後、農作物だけでなく、エネルギーも持続可能な形で生産をしていくために、二本松営農ソーラー株式会社はソーラーシェアリング事業のさらなる普及を目指して活動しています。

社名	二本松営農ソーラー株式会社
本社	福島県二本松市笹屋 303-1
代表者	代表取締役 近藤 恵
設立	2019年11月11日
資本金	3,000万円
株主構成	二本松ご当地エネルギーをみんなで考える株式会社 みやぎ生活協同組合・コープふくしま 特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所
事業内容	再生可能エネルギーを利用した発電設備による発電事業 他

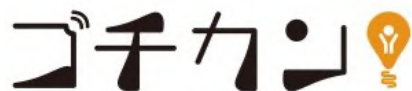


■ 発電所概要

発電所名	笹屋営農型太陽光発電所
方式	ソーラーシェアリング型
発電出力	3901.6 kW(DC)、1930.5 kW (AC)
運転開始	2021年9月30日



共同事業者



にほんまつごとうち
二本松ご当地エネルギーを
みんなで考える株式会社



二本松ご当地エネルギーをみんなで考える株式会社（共同事業者）

2018年に市民有志5名によって設立。現在までに野立て太陽光発電所11か所、営農型太陽光発電所を11か所運営している。日本で初めての垂直営農ソーラーを2022年3月に設置した他、社債発行により市民・企業からの資金調達をすすめるなど、営農ソーラーのイノベーターとして積極的に活動している。

株式会社Sunshine（共同事業者）

2019年設立。二本松営農ソーラー株式会社が運営する営農型発電所のもとで、営農を行う農業法人。営農型太陽光発電所の畑では、シャインマスカットなどのブドウや有機エゴマ、グラスフェッドビーフの自然放牧を行い、学生インターンシップや県外からの営農サポーターの受け入れも行っている。

みやぎ生活協同組合（共同事業者）

1982年設立。宮城県仙台市に本部を置く、購買・共済・子育て・環境など多岐にわたる事業を展開する生活協同組合。近年では、取り組みの一環として再生可能エネルギー発電所に出資又は融資を行い、その再生電力を調達・購入し、みやぎ生協の事業所で使用することでRE100（CO₂排出ゼロ）の推進を目指している。

特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所（共同事業者）

持続可能なエネルギー政策の実現を目的として、政府や産業界から独立した第三者機関として2000年9月に設立された。震災前から全国各地の地域主導の再生可能エネルギー事業をサポートしている。今回の営農ソーラーにおいても、これまでの知見を活かし、開発のコンサルティングに携わった。



特定非営利活動法人
環境エネルギー政策研究所

事業の全体スキーム



地域貢献（地域振興・雇用）、域外への波及効果事例



- 新規就農支援・農業版ベーシックインカム
- 耕作放棄地の農地としての再生
- 自治体とのパートナーシップ構築



- 全国各地からの視察・取材受け入れ
- SS発電所の開発支援（農家のSS事業支援）
- 農地以外のソーラーの模索（土手やあぜ道、フェンス）



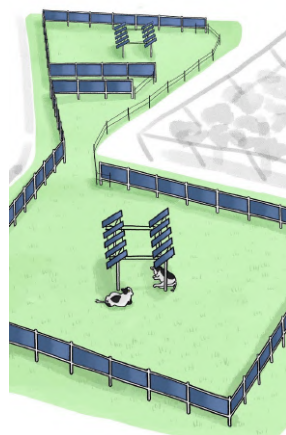
- 映画「陽なたのファーマーズ」 出演協力
- サポーター制度の創設、苗木ネーミングライツの販売
- 発電所の農業設備としての利活用

日本の新たな兼業農家を目指して（提言）

1. 農家は、農作物の生産だけでなく、エネルギーも生産すべし
2. 農家は、発電設備を農業設備として最大限活用すべし
3. 農家は、地域のインフラ整備も行う、公共的な存在であるべし



ブドウ棚として



フェンスや日陰として 可動式で作物への日射を自在に制御

